

令和5年度 第1回総合教育会議 会議録

1. 開 催 日 令和5年11月24日（金）
2. 会 場 文化創造センター 会議室
3. 開会及び閉会時刻 開会14時30分 閉会15時50分
4. 出 席 委 員 森田村長
上田教育長、川田代理、濱本委員、中西委員、川田委員
5. 議場への出席者 渡辺教育次長（説明員）、氏家補佐（記録者）

議事の概要

- 教育次長 それでは、ただいまより、令和5年度第1回総合教育会議を開催します。村長の進行により進めて参りますのでよろしくお願いします。
- 森田村長 お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。それでは次第に沿って進めて参りますのでよろしくお願いします。
日程第1の会議録署名委員は川田代理にお願いしたいと思います。
日程第2の協議第1号の教育行政の課題について1つずつ協議していきたいと思います。

（1）学校給食調理員の確保について

- 川田代理 給食調理員の確保について、これまで募集を続けていますが、なかなか埋まらない状況が続いています。現場の作業がかなりきついこともあり、賃金を上げて募集しやすくする必要があると思います。
- 教育次長 （資料に基づき現状の賃金単価について説明）
- 森田村長 最低賃金の改定に合わせて令和6年度賃金も改正する予定です。
他の自治体でも求人の状況は厳しいと聞いています。
ALTのように、十分な待遇を設定したところ、非常に良い人材が確保できたという事例もあります。
調理員の確保に向けて十分検討に値する話ですので、前向きに検討していきたいと思います。
- 教育次長 具体的には、採用時の格付けを上げる方法などを検討しています。
- 森田村長 上限の見直しについては、会計年度の他の職種にも影響がありますので、国の改善の動きを注視していきますが、勤勉手当は支給の方向で検討を進めているところです。
- 川田代理 時給をもう少し上げた方がよいと思います。
- 森田村長 休暇なども民間より充実しているので、福利厚生についても合わせてPRしていきたいと思います。
- 川田委員 新卒者への声かけの予定はないでしょうか。高卒者の採用が村内にあまりないので子どもたちの選択肢の1つになれば良いと思います。
- 森田村長 可能ではありますが、正職員ではなく会計年度任用職員であるため選択してもらえるかという点があります。また、インターンを実施していますが大学生以上を対象にしています。
- 川田委員 インターンも高校と連携できれば良いと思います。
- 教育次長 ガラス越しに見学する分には問題ありませんが、調理場内に入るには検便が必要だったり、食べ物を取り扱うので職業体験となると難しいところが

あります。

森田村長 もちろん、地元から来てくれれば大変ありがたいと思います。
人手不足は給食センター以外も急速に進んでいます。
昔は役場の採用試験にはたくさん来ていましたが、今は帯広から離れるほど試験を受けに来ない状況になっています。

川田代理 どの業種も不足しているという話を聞きます。

森田村長 先手を打つ意味でも検討を進めていきたいと思います。

(2) 不登校・登校しぶりの対応について

濱本委員 完全不登校ではなくても、不登校気味や登校しぶりが年々増えてきているように感じています。学校の対応も難しくなっており、家庭でも悩んでいるのではないかと思います。

川田委員 校長経験者の活用など検討しているとお聞きしていますので進展に期待しているところです。高校に入ってからの不登校や大人の引きこもりなど、教育委員会だけではなく、福祉課と連携して対応できるような仕組みづくりが必要だと思います。

教育次長 (資料に基づき現状の相談窓口等について説明)

森田村長 義務教育後は基本的に福祉課での相談対応となります。教委と福祉の連携についてご意見あればいただきたいと思います。

川田委員 例えば特別支援学級の子どもの学校間の引継ぎがスムーズになるようなことが必要かと思います。保護者が何回も同じことを書いたり説明したりしないように。また、中学校や高校卒業後に引きこもり等になった場合に周りは何もわからないということにならないようにする必要があります。

森田村長 関係機関同士の情報共有ということですね。

上田教育長 現状についてですが、個別の指導計画については小学校から中学校に引継ぎを行っております。また、支援計画については、保護者の意向もふまえて地域で作っていくもので、障害者年金などにも関係していきます。中学校卒業後も支援計画は残っていくものです。

森田村長 中学校卒業後、福祉課にバトンタッチしたときに保護者が知らないと宝の持ち腐れになってしまうので、引き継ぎの状況は確認したいと思います。

上田教育長 芽室町では発達支援センター設立時に、検査もできる教員を雇用して中心的な役割を果たしてもらっていました。

森田村長 登校しぶりなども増えていますが、星槎やN高など今までなかった選択肢も増えてきています。集団で学習できなくても子どもの状況に応じた選択肢を用意できるようにしたいと思います。今の学校システムが時代に合わなくなっているという有識者もいます。安心して子育てできるようにする必要があります。

濱本委員 登校しぶりなどは今後更に増えていくかもしれません。

森田村長 希望を持って成長して欲しいと思います。マンパワーで解決できない問題となれば違うアプローチが必要になります。CSの講演会でお呼びした工藤先生は、様々な改革をしたが、別の学校に異動すると元の状況に戻ってしまっていると聞いています。

川田委員 不登校や引きこもりの子が村主導で集まれる場所を作れるとよいと思います。その場所で自分の役割をもって過ごしたり、ただいっただけでも自分を取り戻して次のステップへのきっかけになるような場所があれば良い

森田村長 と思います。
行政が運営するのは持続性の面で難しい部分があります。実施団体のサポートはできると思います。

川田委員 フリースクール的な扱いができれば良いと思います。
保育園の発達に心配がある子もむうく（南十勝こども発達支援センター）だけでは、利用頻度や距離の問題もあり十分ではないと思います。

上田教育長 芽室町では、行政が学校に行けないが外出はできる子を集めて事業を実施していました。むうくは幕別町が町単独で支援を実施するため忠類が抜けてしまいました。中札内村単独で実施するほど需要があるかという問題もありますが、本来は地元にあるべきものです。

森田村長 支援が必要な子は増えており、将来的にむうくだけでは間に合わなくなる可能性もあります。

濱本委員 規模的な問題は他の要素も合わせて検討する必要があると思います。

川田委員 更別でも近くに欲しいという声を聞いています。

川田代理 福祉課も力を入れてもらって一緒に検討をする必要があります。

川田委員 どちらかだけの問題ではないので連携して対応をして欲しい。

森田村長 南十勝でも課題として捉えている問題なので福祉課とも共有して検討してもらいます。引き続き議論していくテーマであると考えています。

（３）山村留学の今後について

中西委員 令和６年度で４年目となりますが、今年度は留学世帯も増え地域に活気をもたらしております。過去に懇談会で令和６年度に判断とおっしゃっていましたが、どのようにお考えでしょうか？

森田村長 （２）の話とも関わりますが、上札内小学校はオプションとして必要だと考えています。山村留学の子どもたちの様子も見ていると、中札内小に合わない子でも上札内小なら合うということもあるのではと思います。山村留学はプラス要素が大きく施策として残したい。東川町のように小規模校を残す判断をしている自治体もあります。
地元生との割合も懸念事項ですが、もし山村留學生が来なくて教員配置に影響が出るのであれば学びの環境を維持できないので、判断が必要となります。来年度も区域外通学で入学する児童がいますし、ニーズが切れることはそうないとは思っています。

川田代理 地元児童が減っていく中で何人まで受け入れできるか、住宅含め受け皿がまだしっかりできていない状況です。何人を判断材料とするのか、今後は厳しい状況になっていくと思います。

森田村長 上小で都会の子が変わっていく姿を見ると、中小では対応が難しい子の受け皿としての可能性は大きいと思っています。
学校は一度なくすと戻せません。上小の重要性は増すと考えています。
一番は子どもたちの幸せである。

川田代理 地元の子が増える見込みはあるか。

教育次長 資料のとおり現在の出生数からは今より増えることは見込めません。

濱本委員 スポーツや行事など大人数でやったほうが良いものも多く、人数が少ないと物足りなく感じることもあります。

川田委員 学校という形にこだわらない方法もあるのではないのでしょうか。

森田村長 まずは今やっていることをしっかり取り組んでから次のステップを考え

る必要があります。学校というシステムを機能させ、課題をもっと明確にして具体的なアクションを起こす必要があります。マンパワーの問題もありすべて平行して進めるのは難しい。
これからいろいろな課題が出てくると思います、山村留学が地域の活性化にはっきり繋がっているのは感じています。

(4) その他

- 川田代理 交流の杜の今後についてはどのような方針でしょうか。かなり古くなってきており長期的な視点で判断する必要があると思います。
例えば、合宿機能は諦めて、スポーツ施設だけ残す方法もあると思います。
- 森田村長 現状は確認しているので教委ともしっかり協議して対応したいと思います。委託先の展望なども確認が必要と考えています。
- 川田代理 早めに方向性を出して欲しいと思います。
- 森田村長 皆さん本日は貴重なご意見をありがとうございました。
中札内村の教育が充実してきているのを感じています。たくさん成果を上げていただき感謝申し上げます。
スポーツの活躍や、文化祭の見ごたえのあるステージなど、チャレンジする意識が醸成されていると感じます。
今後も美しい村づくりに教育分野で引き続き協力をお願いいたします。
本日はありがとうございました。

令和5年11月24日

村 長 森田 匡孝

教育長 上田 禎子

署名委員 川田 一幸

記録者 氏 泉 佑介